

会員寄稿

金沢支部 八田 守

よ いち みち 與 一 の 道

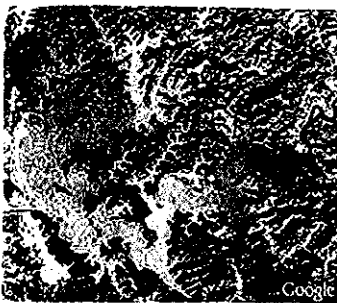


ダムを見守る八田與一像と墓

八田與一は私の祖父、誠一の弟で五男坊の末っ子として我が家（現在の金沢市今町）に生まれました。

與一は台湾総督府の土木技師として東洋一といわれたダムや灌漑用水を建設しました。水害や干ばつで苦しむ農民が幸せに暮らせるよう、10年の歳月をかけ緑豊かな農地に変え農民から台湾農業の父と敬愛されています。

戦後、日本人の銅像が次々と破壊される中、農民が恩人である與一の銅像を秘かに保管しました。昭和 21 年ダムを見渡す丘の上に與一の墓が農民の手によって建立され、以来、今日まで 5 月 8 日の命日に墓前祭を行っています。また、金沢から 30 年間にわたり墓前祭に参加してきた「八田與一夫妻を慕い台湾と友好の会」の方々の草の根交流が続けられています。その間、司馬遼太郎の「台湾紀行」での紹介や李登輝台湾元総統の我が家訪問、更に、アニメ映画「パッテンライ」で與一の関心が高まりました。台湾では偉人として高校の教科書にも載っています。


 珊瑚のように美しい
 烏山頭ダム湖

ます。

今年 5 月には台南市に與一が住んでいた宿舎を復元した八田與一記念公園がオープンし、その前の道路が「八田路」と名付けられました。



記念碑除幕式で山野・頼両市長に囲まれて

墓前祭に参列された山野金沢市長と頼台南市長は意気投合し、金沢市と台南市（180 万都市）は友好交流協定を結び、経済、文化、子どもの交流を深めることを確認しました。

9 月 20 日、頼市長を金沢にお迎えするにあたり、我が家の前の道が、與一も学んだ花園小学校の児童により「與一の道」と名付けられました。式典当日はあいにくの大雨でしたが、花園小学校児童が♪嗚呼！フォルモサダムの父（與一の讃歌）♪を心をこめて歌い、台湾からお越しになった方を歓迎しました。



與一の道と生家

與一は、我が家の前に沿い金沢市街に通ずる北国街道を明治 32 年から 8 年間、炎天の日も雪の降り積もる日もいとわず、旧制金沢第一中学校と第四高等学校までおよそ 10 キロの道を徒歩で通学し、強靱なからだと精神をつくりあげました。

「與一の道」と「八田路」が海をへだてて続いています。金沢と台南の両市民が心を通わせてつながり新たな交流のスタートになることを願っています。